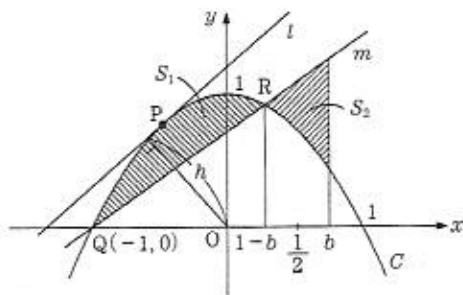


駿台 2018大学入試センター試験  
過去問題集 数学Ⅰ・A, Ⅱ・B

第2問 (数学Ⅱ 微分・積分の考え, いろいろな式, 図形と方程式)

<解説>



(1)  $C: y=1-x^2$ ,  $y'=-2x$

$C$ 上の点  $P(a, 1-a^2)$  における接線  $l$  の方程式は

$$y = -2a(x-a) + 1 - a^2$$

$$\Leftrightarrow y = -2ax + a^2 + 1$$

$$\Leftrightarrow 2ax + y - a^2 - 1 = 0$$

直線  $l$  と原点  $O$  の距離  $h$  は

$$h = \frac{|2a \cdot 0 + 0 - a^2 - 1|}{\sqrt{(2a)^2 + 1}} = \frac{a^2 + 1}{\sqrt{4a^2 + 1}}$$

ここで,  $t = \sqrt{4a^2 + 1}$  とおくと  $t > 0$  であり

$$a^2 = \frac{t^2 - 1}{4} \text{ であるから}$$

$$h = \frac{\frac{t^2 - 1}{4} + 1}{\frac{t}{2}} = \frac{t^2 + 3}{4t} = \frac{1}{4} \left( t + \frac{3}{t} \right)$$

相加平均と相乗平均の関係を用いると

$$\frac{t + \frac{3}{t}}{2} \geq \sqrt{t \cdot \frac{3}{t}}$$

$$\Leftrightarrow t + \frac{3}{t} \geq 2\sqrt{3}$$

等号は  $t = \frac{3}{t} \Leftrightarrow t^2 = 3$  のとき成り立ち, このと

$$き, a^2 = \frac{1}{2} \Leftrightarrow a = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$$

よって,  $h$  の最小値は

$$\frac{1}{4} \cdot 2\sqrt{3} = \frac{\sqrt{3}}{2} \quad (a = \pm \frac{\sqrt{2}}{2})$$

(2)  $C$ 上の2点  $Q(-1, 0)$ ,  $R(1-b, 2b-b^2)$  を通る直線を  $m$  とすると,  $m$  の傾きは

$$\frac{(2b-b^2)-0}{(1-b)-(-1)} = \frac{b(2-b)}{2-b} = b$$

であるから,  $m$  の方程式は

$$y = b(x+1)$$

$$\Leftrightarrow y = bx + b$$

$C$  と  $m$  で囲まれた図形の面積  $S_1$  は

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_{-1}^{1-b} \{1-x^2 - (bx+b)\} dx \\ &= -\int_{-1}^{1-b} (x^2 + bx + b - 1) dx \\ &= -\int_{-1}^{1-b} (x+1)(x+b-1) dx \\ &= \frac{1}{6} \{ (1-b) - (-1) \}^3 \\ &= \frac{1}{6} (2-b)^3 \\ &= -\frac{1}{6} b^3 + b^2 - 2b + \frac{4}{3} \end{aligned}$$

$C$  と  $m$  の  $1-b \leq x \leq b$  の部分, および直線  $x=b$  で囲まれた図形の面積  $S_2$  は

( $\frac{1}{2} < b \leq 1$  より  $1-b < b \leq 1$  に注意して)

$$\begin{aligned} S_2 &= \int_{1-b}^b \{bx + b - (1-x^2)\} dx \\ &= \int_{1-b}^b (x^2 + bx + b - 1) dx \\ &= \left[ \frac{x^3}{3} + \frac{b}{2}x^2 + (b-1)x \right]_{1-b}^b \\ &= \frac{b^3 - (1-b)^3}{3} + \frac{b}{2} \{b^2 - (1-b)^2\} \\ &\quad + (b-1) \{b - (1-b)\} \\ &= \frac{2b^3 - 3b^2 + 3b - 1}{3} \\ &\quad + \frac{b}{2} (2b-1) + (b-1)(2b-1) \\ &= \frac{2}{3} b^3 + 2b^2 - \frac{5}{2} b + \frac{2}{3} \end{aligned}$$

よって

$$S = S_1 + S_2 = \frac{1}{2} b^3 + 3b^2 - \frac{9}{2} b + 2$$

$$\frac{dS}{db} = \frac{3}{2} b^2 + 6b - \frac{9}{2} = \frac{3}{2} (b^2 + 4b - 3)$$

$\frac{dS}{db} = 0$  より  $b = -2 \pm \sqrt{7}$  であるから,  $\frac{1}{2} < b \leq 1$  における  $S$  の増減は次のようになる。

$b$	$\left(\frac{1}{2}\right)$	$\dots$	$-2+\sqrt{7}$	$\dots$	$1$
$\frac{dS}{db}$		$-$	$0$	$+$	
$S$		$\searrow$		$\nearrow$	

よって、 $S$ は  $b=\sqrt{7}-2$  のとき最小になる。

(注)  $S = \frac{1}{2}(b^2+4b-3)(b+2)-7b+5$

であり、 $b=\sqrt{7}-2$  のとき  $b^2+4b-3=0$  であるから、最小値は

$$-7(\sqrt{7}-2)+5=19-7\sqrt{7}$$

(注)  $S_1$  を求めるとき

$$\int_a^b (x-\alpha)(x-\beta) dx = -\frac{1}{6}(\beta-\alpha)^3$$

を利用している。

### 第3問 (数学B 数列)

<解説>

$$a_1 = -40$$

$$a_{n+1} = |4n - a_n| + 2a_n \quad \dots\dots ①$$

(1) ①より

$$a_2 = |4 - a_1| + 2a_1 = 44 - 80 = -36$$

$$a_3 = |8 - a_2| + 2a_2 = 44 - 72 = -28$$

であるから、 $n=1, 2, 3$  のとき

$$a_n \leq 4n \quad \dots\dots ②$$

が成り立つ。

$n=1, 2, 3, \dots, m$  のとき②が成り立つとする

と

$$|4n - a_n| = 4n - a_n$$

であるから、①より

$$a_{n+1} = (4n - a_n) + 2a_n$$

$$\iff a_{n+1} - a_n = 4n$$

ゆえに、数列  $\{a_n\}$  の階差数列の一般項が  $4n$  であるから、 $n \geq 2$  のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 4k \\ &= -40 + 4 \cdot \frac{1}{2}(n-1) \cdot n \\ &= 2n^2 - 2n - 40 \end{aligned}$$

これは  $n=1$  のときも成り立つ。

ゆえに、 $n=1, 2, 3, \dots, m+1$  のとき

$$a_n = 2n^2 - 2n - 40 \quad \dots\dots ③$$

ここで

$$2n^2 - 2n - 40 > 4n$$

$$\iff n^2 - 3n - 20 > 0$$

$$\iff n < \frac{3-\sqrt{89}}{2}, \frac{3+\sqrt{89}}{2} < n$$

であり  $9 < \sqrt{89} < 10$  より  $6 < \frac{3+\sqrt{89}}{2} < \frac{13}{2}$  である

から、この不等式を満たす最小の自然数  $n$  は

$$n=7$$

よって、 $n=1, 2, 3, \dots, 7$  のとき

$$a_n = 2n^2 - 2n - 40$$

であり

$$a_7 = 2 \cdot 7^2 - 2 \cdot 7 - 40 = 44$$

(注)  $1 \leq n \leq 6$  のとき②が成り立つので  $1 \leq n \leq 7$  のとき

$$a_n = 2n^2 - 2n - 40$$

となる。

(2)  $n \geq 7$  のとき

$$a_n > 4n$$

が成り立つこと

[I]  $n=7$  の

$$a_7 = 44$$

[II]  $n=k$  ( $\geq$ )

すると

$$a_k > 4k$$

このとき、①

$$a_{k+1} = |$$

$$=$$

$$=$$

であり、仮定

$$3a_k - 4$$

$k \geq 7$  より

$$8k - 4$$

であるから

$$a_{k+1} > 8$$

よって、 $n=k$

[I] [II] より

したがって、 $n:$

$$a_{n+1} =$$

⑤より

$$a_{n+2} =$$

$$b_n = a_{n+1} - a_n$$

$$b_{n+1} =$$

この式を変形す

$$b_{n+1} -$$

となり、数列  $\{b_n\}$

ら、 $n \geq 7$  のとき

$$b_n - 2 =$$

$$\iff b_n = (b_n$$

ここで、⑤、⑥

$$b_n = a_n -$$

$$= (3a_n$$

$$= 2a_n$$

であるから

$$b_7 = 2a_7$$

よって

$$b_n = 58$$

⑦より

$$a_n = \frac{1}{2}n$$